

労働災害防止の取組について

今年に入って、静岡県内では労働災害により亡くなった方が8月末に22人となり、既に昨年1年間の死亡者数25人に迫る発生状況となっています。また、同様に休業4日以上之死傷災害も2,245人で前年に比べて114人の増加となっています。

静岡労働局では、このような労働災害の多発傾向を踏まえ、2月、6月と災害多発業種の団体に対する安全管理の徹底等の要請を行うなど、災害防止に取り組んできましたが、発生に歯止めがかからない状況が続いています。

また、今後、県内の生産、物流など経済活動の活発化や人手不足の状況などから労働災害の発生リスクも一層高まることが懸念されます。

こうした状況から、8月に、臨検監督の強化などの緊急対策を取りまとめ、各労働基準監督署長を招集し、その実施の徹底を指示したところです。

しかしながら、労働災害の発生に歯止めをかけるには、こうした監督・指導といった行政の対応だけではなく、事業主の皆さんや働く皆さんに厳しい現状を認識いただき、今一度、安全意識を高めていただくこと、さらに、これを日々の現場での安全点検の徹底や安全パトロールなどの具体的な行動につなげていただくことが、不可欠であります。

つきましては、貴団体におかれましては、こうした状況にご理解をいただき、傘下企業等の職場における安全意識の更なる徹底、安全衛生活動の総点検等の災害防止活動の更なる推進が図られるよう、格別のご協力をいただきたく、お願い申し上げます。

平成26年9月9日

一般社団法人 静岡県商工会議所連合会会長 様
一般社団法人 静岡県経営者協会会長 様
静岡県中小企業団体中央会会長 様
静岡県商工会連合会会長 様

静岡労働局長 柳瀬倫明